

小児がん、AYH世代の言葉を聞いたことがありますか。小児がんは、0~14歳の小児に診断されるがんです。AYH世代とは、「AYH世代がん」といい、15~39歳の思春期・若年成人世代で発症するがん(悪性腫瘍)です。小児がんは不治の病と言われたのは昔のことです。今は治る病気なのにドラマ等では治らない病気になっています。可哀そう、大変だね、治らないなど、あまり良い印象が無いかも知れませんが、治って成人になり就職・結婚など普通に暮らしています。小児がんふぁみりいコスモの会は、小児がんを経験したこども達が特別視されることなく生活ができればと考えています。大人のがんのように理解され、悩み・不安を軽減できる場所を提供しています。経験者・家族は話がしたくてもできない現状があります。今回上映する「風のかたち-小児がん仲間たちの10年-」は、子どもたちの心の吐露、子どもたちを支える医療者の思いが伝わってくるドキュメンタリー映画です。親でも子供の心はわかりません。病気を抱えているからこそ、親や周囲に気を配り自分を押し殺している子どももいます。私は子どもが治療中に初めてこの映画を見ました。親には本音を言わないのは分かっていたましたが、目を背けていました。また本音を聞くことも避けていました。子どもが旅立ってから、あの時しっかりと観とけば良かった。何を考え、何を思い、を知ることができる映画なのに最後まで子どもの心に寄り添うことができなかつた。と悔いが残ってしまいました。子ども達みんながこの思いと限りませんが、本音だと感じています。親に見せる姿と、本音を話せる仲間の存在の偉大さを今頃になり理解できました。映画は悲観的な物語ではありません。子どもの芯の強さが感じられるドキュメンタリー映画です。病気を経験したからこそその強さ、生きる力が伝わってきます。ぜひこの機会に、ご鑑賞いただけたらと思います。

小児がんふぁみりいコスモの会
代表 大嶋奈緒美

げんき・結愛・げんきこども園は、
小児がんの子ども達、そのご家族を
応援しています！！

げんき・結愛・げんきこども園
園長 田中年子
職員一同

4月28日(日)

観に来てね！